

結論と判断

送料が上がる前に、 残る利益を確かめる。

月57注文の食品1商品。配送費などが上がった後も、今の価格で続けられるかを確認します。

今回の比較結果 / 円 / 税抜

月 6,311.51 円の赤字

現在より、月5,727円の負担増。

価格と送料の見直しが必要です。

商品価格を456円にすると計算上は黒字になりますが、月の利益は約30円だけ。販売を勧める価格ではなく、赤字を避ける境目として読みます。

商品価格

324円

税込・食品の税率8%

受取送料

330円

税込・税率10%

月の注文数

57件

1注文1商品・1荷物

読み方：まず結論を確認し、次のページで数字の理由、最後のページで対応案と試し方をご覧ください。

すべて説明用の架空条件です。実際の依頼・導入実績・改善実績ではありません。

数字の理由

費用を分けると、理由が見える。

配送費が1注文100円増えるため、57注文で5,700円の負担増。共通費の増加27円と合わせて5,727円です。

月の内訳（税抜）	現在	費用改定後
商品代と受取送料	34,200.00円	34,200.00円
商品原価	11,457.00円	11,457.00円
配送費	12,954.55円	18,654.55円
梱包費	5,130.00円	5,130.00円
決済手数料	2,280.00円	2,280.00円
広告費	1,026.00円	1,026.00円
返品に備える費用	927.96円	927.96円
商品専用の固定費	1,000.00円	1,000.00円
お店の共通費の負担分	9.00円	36.00円
この表の費用を引いた利益	-584.51円	-6,311.51円

注文明細57件、配送請求250円×57件、決済明細44円×57件を使用。仕入201円・梱包90円は1個／1注文の税抜額です。梱包費は80円から90円へ訂正済み。返品費用は57件×4%×407円の見込みです。

商品代は1.08、送料と決済手数料は1.10で割り税抜へ換算。決済手数料は1注文ごとに税込額を1円へ四捨五入。他の計算途中は丸めず、表示時に小数2桁にします。

比較と次の一手

条件を変えて、選択肢を比べる。

まず配送・梱包・手数料を明細で確かめ、月にいくら利益を残したいかを決めます。そのうえで、価格や送料と注文数の組み合わせを比べます。

比較する条件	結果
今の価格・送料を維持	月6,311.51円の赤字
商品456円・送料330円	月29.89円の利益
商品324円・送料440円	月818.78円の赤字

01 Excelで、数字を変えてみる

ExcelのB13を324円から456円へ変更すると、上部の改定後の利益が29.89円に変わります。別の案を試す前に324円へ戻してください。

02 判断するときに確認すること

値上げによる注文数の減少は予測していません。記載外の人件費・家賃などは含みません。注文数を変える場合は、お店の共通費の負担分も見直します。会社全体の利益や税務上の税額を確定する資料ではありません。

出典：本資料の架空条件と、同封の再計算用Excel。実案件ではお客様の明細・契約条件・料金情報を確認して根拠を記載します。